

2月のほけん だより



名護屋小
保健室
R6. 2. 9

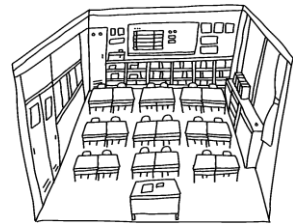
インフルエンザ B 型流行中！

名護屋小も1月の半ばあたりから、インフルエンザ B 型の感染でお休みをする人が増えています。本日(2/7)までに、12人の出席停止があります。12人中1名は、A型でした。また、新型コロナウイルスの感染も1名みられました。

名護屋小だけでなく、唐津市管内の小中学校も大変流行しているようです。中学校区ごとに、感染者や、学級閉鎖、学年閉鎖の数が見られる「学校等欠席、感染者情報システム」より2月7日(水)時点の唐津市内の学級閉鎖や学年閉鎖をしている校区のインフルエンザり患者数や学級閉鎖数等を紹介します。

(中学校区とは、その中学校とそこに通う小学校のことを言います。例えば、海青中校区だと、海青中、名護屋小、打上小、呼子小のことを言います。)

	インフルエンザ(人)	学級閉鎖(数)	学年閉鎖(数)
一中校区	58	9	0
五中校区	36	1	0
鏡中校区	38	2	1
鬼塚中校区	32	1	1
湊中校区	17	0	1
西唐津中校区	13	1	1
厳木中校区	6	0	2
海青中校区	14	0	1



インフルエンザも新型コロナも「飛まつ感染」

「飛まつ」とは

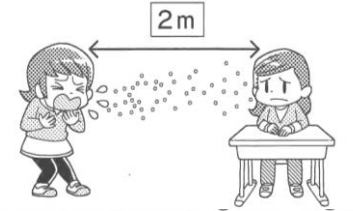
くしゃみなど口からとびつばの細かいしぶきのことを「飛まつ」といいます。飛まつは目に見える大きいものから、0.005mmくらいの目に見えない小さいものまであります。



また、ウイルスに感染した人がとばす飛まつの中には、ウイルスが入っていることがあり、ほかの人への感染源になります。

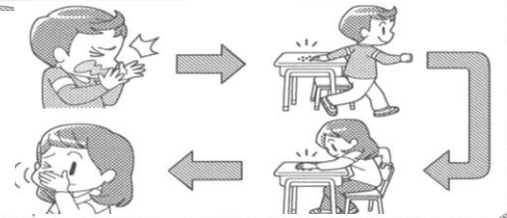
飛まつはどれくらい飛ぶの？

くしゃみ・せき・会話のそれぞれで、飛まつ飛ぶ距離は違い、くしゃみの場合は、約2m飛ぶとされています。また、飛ばされて飛まつは、気がつかないうちに、ほかの人の鼻や口などに入ってしまうことがあり、感染者の飛まつからウイルスに感染する「飛まつ感染」を起こすことがあります。



飛まつから「接触感染」につながることも

ウイルスの感染は、「飛まつ感染」だけではありません。感染者の飛まつがついたものにふれて、手にウイルスがつき、その手で鼻や口、目などに触れて感染する「接触感染」もあります。手洗いをして、身についた飛まつを落とすことで、接触感染を防ぐことができます。



飛まつによるウイルスの感染を防ぐには

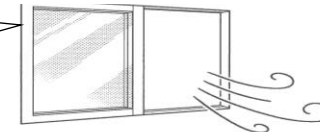
マスクを付ける



できれば、ウイルスの侵入をより防ぐといわれる、不織布のマスクを

こめめに換気する

空気中に残る飛まつを外に出す



窓がない場合は、換気扇をつけておく

手のすみずみまで石けんを使って洗う

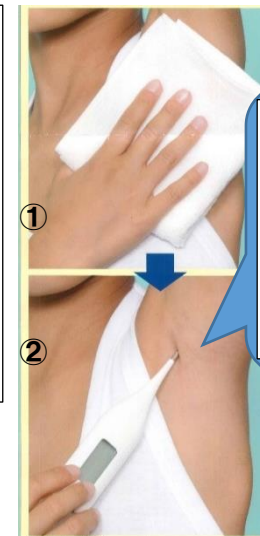


ほかの人と1~2mの距離をとる

飛まつは2mまでなので



正しい体温の測り方



- ① わきの汗をふきとる。
- ② 体温計を下から差し入れて、わきの下のくぼんだ部分に先をあてる。

③ わきをしっかりと閉じ、音が鳴るまでじっと待つ。

③

体温計は、体に対して、約30度ななめに。

体温計をはさんでいる方の腕を反対の手で軽くおさえる。

